

「なごや東山の森づくりの会」 定例会報告 2013.4.9 (水谷)

日時 2013年4月7日(日) 10:00~12:00 天候: 晴のち曇り

活動場所 くらしの森

作業 スモモ池東の湿地の手入れ(アシ、ガマ、セイタカアワダチソウの刈り取りなど)

集合場所 里山の家

参加者 会員32名(内子ども4名)

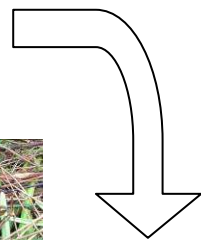
○サクラの花がまだ残る朝、32名が里山の家に集まりました。鬼頭リーダーから機関誌「東山の森だより18号」発送のこと、新年度の班活動希望アンケートのことなどの紹介があった後、滝川代表が定例会に3回参加した少年2人を表彰、皆で拍手した後、早速リヤカーに鎌やレーキなど必要な器具を乗せ今日の現場となるスモモ池東の湿地わきに移動しました。

○長靴組は湿地に入り、枯れて乾燥し硬さを増したアシの茎を長柄鎌で刈り倒す、下はぬかるみで場所によってはずぶずぶと長靴が沈む。刈ったアシや雑草を集めブルーシートで運ぶチーム、それを受け取り運び出す名古屋市のトラックに積みやすいよう、中道脇にきちんと積み上げる人たち、それぞれが息の合った作業で着々と目標を達成していきました。

○一時間ほど経ったとき、リーダーから「現在京都付近にある低気圧が速い速度で近づきつつあるので、本日の作業はお昼までにします」とのアナウンスがあり、それを聞いた皆は一斉にギアをチェンジ、作業のスピードが見る見る上がり、お昼になるころには今日の成果がはっきり見える形になりました。正午にはほぼ予報通り、冷たい風で肌寒むさを感じようになってきたので作業を終了しました。里山の家で道具の手入れをしながら滝川さんの「鎌のとぎ方臨時講座」もありました。刈ったアシ、雑草は市の2トントラック6杯にもなりました。お疲れ様でした。7月からは夏時間(9時~12時)になりますのでご注意ください。



アシや雑草で荒れた湿地がいろいろな作業で見違えるように整備されました。



表彰された子供たちもそうでない子供たちも真剣に作業します。メタボ気味のウシガエル君も応援に登場。ボケやコバノミツバツツジが彩りを添え、お母さんたちは作業の合間に長いツクシやセリを集め今夜の食卓に。